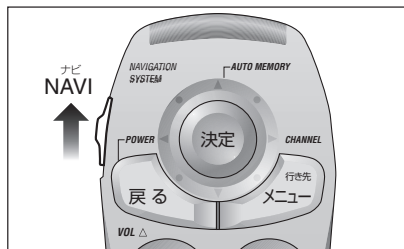


# 音声割り込みを設定する

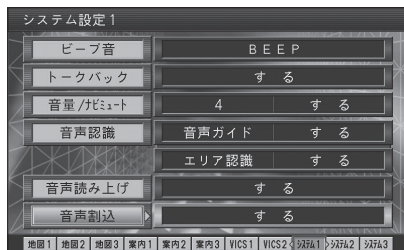
1 ナビ/テレビ切り換えスイッチを「NAVI」側に切り換える。



2 メニュー画面「設定」から、  
「ユーザー設定を編集する」  
「システム設定」を選ぶ。

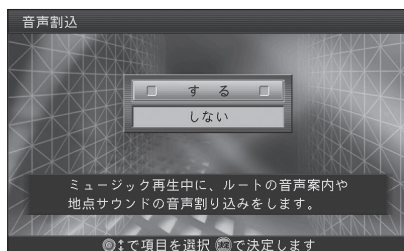


3 「システム設定1」画面から  
「音声割込」を選ぶ。



4 **する** / **しない** を選ぶ。

- する**：音楽データ再生中に、ナビゲーションの音声案内や登録ポイントのサウンドを割り込ませます。音声割込中は、再生を一時停止します。(バージョンアップ時の設定)
- しない**：音楽データ再生中は、ナビゲーションの音声は一切出力されません。



## お知らせ

- 以下の場合、音声割込の設定に関わらず、再生を一時停止します。
  - ・ 音声認識中
  - ・ ハンズフリー着信 / 発信中※ハンズフリー通話の音声は、R (右) チャンネルから出力されます。  
[モバイルコミュニケーションユニット「CY-HCM200D : 生産完了」を接続している場合]

# MP3 ファイル作成時の留意点

## ■ MP3 (エムピースリー) とは

MPEG 1 Audio Layer3の略称。MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。

- MPEG2 Audio Layer 3 LSF、MP3i、MP3 PRO は、本機で再生できません。
- WMA形式の音楽ファイルは、本機で再生できません。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

## ■ 音楽データをMP3ファイルにエンコード(変換)するとき

- サンプル周波数 : 「44.1 kHz」に設定してください。(必須)
- ビットレート : 「固定」に設定してください。(必須)  
[56 kbps] ~ [320 kbps](推奨 : 「128 kbps 以上」)
- 可変ビットレート (VBR) で記録されたファイルは、再生できません。
- 再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

## ■ 全角英字をファイル名に使用しないでください

- ファイル名に全角英字を使用したファイルは、本機に保存されません。

## ■ MP3ファイルには、必ず拡張子「MP3(mp3)」を付けてください

- 「MP3(mp3)」以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合は、ファイルを本機に保存できません。

## ■ MP3ファイル以外のデータには、拡張子「MP3(mp3)」を付けしないでください

- MP3ファイル以外のデータに拡張子「MP3(mp3)」を付けて本機に保存しても、本機では再生できません。

## ■ M3Uプレイリストには対応していません

- 本機では、ファイル/フォルダを50音順に並べ替えて再生されます。ファイル名/フォルダ名の頭に「01」～「99」などと入力することで、順番を設定できます。

## ■ ファイル数/フォルダ数/容量の制限について

- フォルダの階層数 : 8階層
- ファイル/フォルダ数 : 1フォルダにつき、ファイルとフォルダの合計が99まで
- 容量 : 約900MBまで(1曲4.5MB※として、約200曲)  
※ビットレート128kbps、サンプリング周波数44.1kHzでエンコードした場合の、おおよその目安です。

## ■ 文字の表示上の制限について

- 対応文字形式 : JIS形式(漢字は第1水準まで)
- ファイル名※ : 半角28文字(全角14文字)まで(拡張子含まず)
- フォルダ名 : 半角32文字(全角16文字)まで
- ID3 Tag※ : アルバム名/タイトル名/アーティスト名それぞれ半角40文字(全角20文字)まで

※再生情報(23ページ)には、半角26文字(全角13文字)まで表示されます。

## ■ ID3 Tagについて

- 本機では、ID3 Tag Ver.1.xに対応しています。アルバム名/タイトル名/アーティスト名を表示できます。

## ■ 著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないで複製(録音)、配付、配信することは著作権法で禁止されています。